

ボードテック試験成績書

《 引抜試験 》

2016年10月



日本パワーファスニング株式会社

1. 試験目的

ボードテックの引抜荷重に対する挙動を観測・測定し、ファスニング設計・施工の参考となる情報を提供する。

2. 試験項目

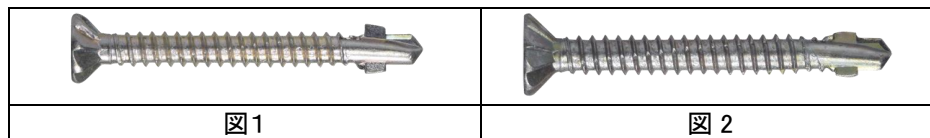
静的引抜試験

3. 本試験成績書対象品目および代表試料

ボードテックの径ごとに代表試料を表 1 のとおり定めた。

表 1

	品目	代表試料
(1)	ボードテックフレキ4ミリ、サラ4ミリ、平サラ4ミリ	ボードテックフレキ 4x40 (図 1)
(2)	ボードテックフレキ5ミリ、平サラ5ミリ	ボードテックフレキ 5x45 (図 2)



4. 下地鋼材

厚みを3水準とした(表 2)。試料4ミリは適用板厚外のため、t3.2 を除く2水準とした。

表 2

鋼材	厚み
リップ溝形鋼 100x50x20	t1.6
	t2.3
	t3.2

5. 試験機器

万能試験機オートグラフ AGX plus, 100kN (株式会社島津製作所製 図 3)



図 3

6. 試験方法

ボード類は介さず下地鋼材裏側に5山程度突出するまで試料をねじ込み試験体を制作した(ねじ込み面は幅 100 の面)。試料頭部に引掛治具をセットし(図 4)、軸方向に載荷して荷重と変位量を測定・記録した。



図 4. 試験体

7. 試験結果(単位:kN)

各試料の試験結果(最大荷重と統計処理数値)を表 3 に示す。

表 3

試料	試料4ミリ		試料5ミリ		
	t1.6	t2.3	t1.6	t2.3	t3.2
下地鋼材厚み					
1	2,204	3,841	2,427	3,803	6,378
2	2,437	3,559	2,349	3,682	6,115
3	2,259	3,714	2,670	4,031	5,901
4	2,312	3,927	2,466	3,814	6,207
5	2,233	3,641	2,409	3,920	6,329
平均値	2,289	3,736	2,464	3,850	6,186
標準偏差	91.5	148.4	122.5	131.5	189.7
変動係数(%)	4.0%	4.0%	5.0%	3.4%	3.1%

8. 本書使用上の注意事項

本書掲載の試験結果は全て社内における試験の最大値および最大値に基づく統計値です。

実際の使用にあたっての荷重の種類や大きさの見極めおよび「許容荷重」や「安全率」の設定は設計の専門業者の判断に従ってください。

以下余白